

令和8年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心にした指導をする。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導をする。			互いの大切さを認めることを中心にした指導をする。			
各教科・読書科	国語「春がいっぱい」身近な自然に目を向け、親しみをもち、感想を書く。書いたものを読み合い、良いところを見つけて感想を伝え合うこと。		生活科「町探検」自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。			生活科「生きものをかおう」動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物への親しみをもち大切にできるようにすることができるようにする。			国語「スーホの白い馬」最も心を動かされたことについて、感想を交流する。		生活科あしたへジャンプ 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分ができるようになったことが増えたことなどが分かり、これまでの支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつ。	
特別の教科 道徳	誠実・明朗 うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする態度を養う。	友情・信頼 学校生活を共に過ごす友達の存在について考え、友達と仲よく活動し、助け合って過ごそうとする心情を育てる。C	生命尊重 かけがえのない生命に気付き、生命あるものを大切にすること育てる。	公徳心・規則の尊重 みんなのことを考えて、公共のきまりや約束を守ろうとする心情を育てる。	愛校心 先生や学校の人々に親しんで楽しい学校生活を送ろうとする態度を養う。	友情 友達のよいところに目を向けて、互いに助け合っていくことの大切さが分かり、どんな場面でも友達と仲よくしていくことと気持ち育てる。	家族愛 父母を大切にし、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを自覚させる。	尊敬・感謝 日ごろ世話になっている人々に感謝の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。				
総合的な学習の時間												
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。											
その他	なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。											
	ふれあい月間						ふれあい月間					
	おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ											

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 ◻ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。